

生見小学校での
「市長とふれあいトーク」発言に対する検討結果等

〔開催概要〕

日時：平成20年7月14日（月） 19：30～20：30

場所：生見小学校

※ 平成20年度の地域巡回型の3回目として開催（喜入地域）

平成20年8月
鹿児島市 市民参画推進課

生見小学校での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年7月14日（月）19：30～20：30
場所：生見小学校

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	喜入生見町 男性	① 生見海水浴場は生見地区発展の起爆剤になると思われるので、今後とも海水浴場の整備計画への支援をお願いしたい。	① 鹿児島市内には3つの海水浴場があり、中でもこの生見海水浴場は長い歴史を持ち、自然にも恵まれ、利用客も多いことからまちづくりに好影響を与えています。本市では現在、生見海水浴場についてシャワー施設や駐車場、水洗トイレの整備など利用者の利便性が向上するよう努めているところです。	教育委員会	① 生見海水浴場を活性化するため、水洗トイレやシャワー等を備えた管理棟や駐車場を整備し、利用者の利便性の向上を図ります。 (今後の見込み) 平成20年度…土地取得、管理棟新築・設備設計 平成21年度…管理等新築工事 平成22年度…駐車場・外構工事、供用開始（7月）
		② 県道飯山喜入線の拡幅整備についてお願いしたい。この生見小学校前のJR踏切から近隣の神社までの区間が未改良となっているため、道路の拡幅をお願いしたい。朝夕は大型トラックも走行するため、通学する子どもたちにとっても危険である。かつて3つのルートが模索されたものの地権者の反対などで駄目になったが、地区民の大方の同意を得ているので、ぜひ拡幅をお願いしたい。	② 県道飯山喜入線については、これまでも早い段階での整備を県に要望してきたところです。また道路の拡幅には用地買収をはじめ多くの皆様のご協力も必要です。通学する子どもたちのためにも安心安全なまちづくりのために引き続き県などの関係機関に協議・要望を続けてまいります。	建設局 教育委員会	② 県道飯山喜入線の整備については、鹿児島地域行政懇話会などの機会を捉えて県に要望しているところです。今後とも引き続き要望してまいりたいと考えております。 なお、通学路においては、道路幅が狭かったり、大型トラックが通ったりといろいろな危険が予想されます。そこで子供たちが事故に遭わないように、学校では地域の実態に即した具体的な安全指導の徹底をするよう指導しております。 また、保護者をはじめ地域の方々には、子供たちが安全な登下校ができるように、声かけや見守りを続けていただくようお願いしております。 今後も子供たちが安心して通学できるように、学校・家庭・地域が連携した交通安全指導が展開されるよう、助言してまいりたいと考えております。

生見小学校での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年7月14日（月）19：30～20：30
場所：生見小学校

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	喜入生見町 男性	地域で設置している防犯灯の電気代や電球取替え費用に対する市の補助を拡充してもらえないだろうか。例えば省エネのために既存タイプの蛍光灯をエコタイプのものに取り替えようとするとかかなり割高である。また最近全国をみれば女の子が防犯灯のない暗がりで見られる事件も発生しており、防犯灯の重要性は大きいと思う。こうした取替えや電気代は集落からお金を出してやっているの、これまで以上に市からの補助をお願いしたい。	防犯灯は地域の安心安全な生活のために重要な役割を果たしており、防犯灯の電気代などの補助は今年度からこれまで以上に増額したところです。しかしながらすべての防犯灯の費用をただにする、というのは財政上も困難なところがありますのでご理解いただきたいと思います。増額のご要望があったことは所管の安心安全課に伝えてまいります。	市民局	<p>町内会が設置し、維持管理を行う防犯灯に関する補助は、以下の2種類となっております。</p> <p>1.防犯灯電気料補助金 町内会が設置し、維持管理する防犯灯で100W以下の防犯灯の電気料金について全額補助を行っております。（電気料金合計額に100円未満の端数金額が生じた場合は、その端数金額を切り捨てた額）</p> <p>2.防犯灯設置費補助金 防犯灯の設置補助金は、20年度から以下のとおり改正いたしました。 （補助金の増額）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九電柱などに器具を取り付ける共架式の場合、9,500円を10,000円に増額 ・支柱を設置し器具を取り付ける小柱式の場合、14,300円を24,000円に増額 <p>（補助対象の新設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るい照明補助加算 省エネタイプであるインバータ式防犯灯を取り付ける場合、6,000円を加算。 ・支柱のみの取替 小柱式の場合で、器具はそのまま支柱のみ取り替える場合、14,000円を補助。 <p>このように、従来より防犯灯の電気料金については基準の範囲内で全額補助を、設置費補助金については、今年度改正を行い、補助の充実を図ったところでございますので、ご理解いただきたいと思います。</p>

生見小学校での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年7月14日（月）19：30～20：30

場所：生見小学校

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	喜入生見町 男性	<p>① 過疎化対策にもなるので、住宅整備と子育て支援に取り組んでいただきたい。まず生見地区に少し大きめの間取りのアパート型の市営住宅を整備してほしい。</p>	<p>① 市営住宅については、喜入地域に7つ整備しています。市町村合併後は旧5町地域に特化して建設を促進しているところです。国の予算から補助などを受けながら各地域で計画的に整備を行っているところです。今後とも国への要望などを行ってまいりたいと思います。</p>	建設局	<p>① 現在本市では、旧5町地域において、これまでの公営住宅の整備状況や応募倍率等を調査した上で、喜入、郡山、吉田の3地域に地域の活性化のための住宅の建設を進めております。喜入地域については、公営住宅の整備の少ない瀬々串地区に整備する計画です。生見地区の市営住宅整備につきましては、これら3地域への住宅の建設が完了後、新たな建設候補地の選定を行う中で検討したいと考えております。なお、これらの地域に建設される市営住宅は、子育て世帯を募集の対象とし、3DKを基本とした集合住宅形式で計画しております。</p>
		<p>② 第二点として、若いご夫婦が小さい子どもを預けようと思っても、働いていないと預かってもらえないということが。働いていなくても子どもを預けられるようになれば、預けた施設で子育ての情報交換ができるようになるなど、こうした子育て世代の支援になるように思う。</p>	<p>② 子どもの保育・預かりについては、保育園などの入園条件があり、無条件にできない現実があります。子育て世代の支援のために本年4月から中町に「親子つどいの広場」を設置し、また異なる世代の方々が交流できる子育て支援施設を与次郎地区に整備する計画など子育て支援策については市のほうでも取り組みを進めています。これらの施設に続いてこうした子育て支援の施設を今後市内の各地域に整備することも計画していきたいと思います。</p>	健康福祉局 教育委員会	<p>② 保育所は、「保護者の就労等により家庭で十分保育することができない児童を、保護者にかわって保育する」ことを目的とした児童福祉施設であるため、入所については、保護者の就労などの理由が必要となります。</p> <p>子育ての情報交換ができる場として喜入地域では、地域子育て支援センターとして前之浜保育園が園庭を開放し、育児相談などを実施しているほか、校区社会福祉協議会が「ふれあい・子育てサロン」を喜入、中名でそれぞれ月1回程度実施し、情報交換や季節の行事などを行っています。また、平成20年4月に中町に開館した「親子つどいの広場」でも親子の交流や育児相談などを行っておりますのでご利用ください。なお、総合的な子育て拠点施設として「すこやか子育て交流館（仮称）」を与次郎地区に整備することとしており、乳幼児の一時預かりも実施する予定です。</p> <p>今後も安心して子どもを生み育てやすい環境づくりを進めてまいります。</p> <p>また、地域公民館では、子育てを支援するための家庭教育講座を開講するとともに、子育て世代の方々が受講しやすいよう、そのほとんどで託児を可能にしておりますので、ご活用ください。</p>

生見小学校での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年7月14日（月）19：30～20：30
場所：生見小学校

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	喜入生見町 男性	<p>喜入中学校のJRでの通学定期代補助の見直しがこの4月から始まっているが、この見直しは時期尚早ではないか。5月の教育委員会の説明でも6月の市議会の答弁でも通学路は確保されている、というが、喜入地域の特徴として海沿いの国道には歩道の整備されていない箇所があり、生徒を安全に通学させる通学路が実質的には確保されていない状況がある。自動車の通行量の多いそんな国道を子どもたちに歩いて通学させることができるだろうか。少なくとも道路の整備による通学路の確保がなされるまでは、安全に通学できるよう定期代の補助を続けていただきたい。</p>	<p>喜入中の通学定期代補助の見直しは、補助そのものをやめるということではなく、市内の他の地域と同じように国の法令に準拠して通学距離に応じた補助を行うように見直すという内容になっています。例えば通学距離4～6キロの地区では通学補助が0になる場合も出てくるかと思われます。この場合も通学において危険性のないように安全を確保できるよう国への要望をはじめ、努めてまいりますのでご理解をいただきたいと思います。</p>	建設局 教育委員会	<p>国道226号については、現在、国において産業道路南入口交差点から平川交差点付近までを「平川道路」として整備が進められており、平川道路以南についても、県市長会等で四車線拡幅改良の早期事業化などを要望しているところです。</p> <p>なお、現行の遠距離通学補助制度は、国が定める通学距離の基準を超えて通学する児童生徒の交通費の補助を行い、保護者の経済的負担の軽減を図る制度であり、基準より短い距離の場合は補助されないものですが、制度の見直し以降、地域の皆さんから配慮してほしい旨のご意見を受けましたことから、現在、通学時の安全性の確保という観点から、公共交通機関を利用せざるを得ない場合の補助金制度の有無などについて、他都市の状況を調査しているところです。</p> <p>また、通学路となっている国道226号については、ご意見にもありますように歩道の整備が十分でなく、自転車や徒歩での通学に危険を感じ、JRでの通学をやむなく選んでおられるご家庭もありますことから、市教育委員会では、国道事務所指宿維持出張所に対し、歩道や自転車専用道路の整備について要望書を提出したところです。</p> <p>また、学校ではこのような道路の現状を鑑み、子供たちが事故に遭わないために、地域の実態に即した具体的な安全指導の徹底をするよう指導しているところであり、保護者をはじめ地域の方々には、子供たちが安全に登下校ができるように、声かけや見守りを続けていただくようお願いしております。</p> <p>今後も子供たちが安心して通学できるように、学校・家庭・地域が連携した交通安全指導が展開されるよう、努めてまいります。</p>

生見小学校での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年7月14日（月）19：30～20：30
場所：生見小学校

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	喜入生見町 男性	① JR生見駅前にバス停留所があるが、以前は背後が護岸の擁壁になっていて、国道沿いなのに安全地帯もなく危険があった。そのため平成17年の知事・市長との意見交換会で要望した後、100メートルほど鹿児島よりに移設されたのだが、今度は集落から離れてしまい、安全ではあるのだが高齢者や障害のある方などいわゆる交通弱者にとっては不便になってしまった。 国道のことは国の問題とは思いますが、高齢者障害者対策という視点から市のほうでも再移設など考慮してもらえないだろうか。	① 地元の要望により一旦移設されたバス停の再移設は、道路管理者やバス事業者などが関わっており、なかなか簡単に行かない面があると思います。関係部局に調査させてみたいと思います。	企画部	① 生見駅前のバス停につきましては、その危険性をご指摘いただいたことから、バス事業者が、県公安委員会等関係機関と協議の上、平成18年4月に、より安全な現在の場所に移設したところです。 再移設するにあたっては、まずはバス利用者の安全性の確保を第一に考える必要があります。そのうえで、バス事業者が、現在の国道の状況、地域にお住まいの住民の皆様のご意見、県公安委員会等との協議等総合的に勘案し判断されるものと考えております。
		② JR生見駅のトイレが廃止されてしまって地区のJR利用の住民は不便をきたしている。高校生・中学生を中心に毎日100名余り利用している駅なので何とか市のほうで設置してもらえないだろうか。	② JR生見駅だけでなく、喜入地域の中名、前之浜といった他の駅でもトイレが廃止されました。JRから廃止の申し入れがあった際は、市としても強く要望しましたが、結果として廃止されました。市で改めて設置できないかとのことのご要望ですが、駅自体はJRの管理する土地・施設になりますので、トイレ再設置のご要望があったことをJR九州鹿児島支社へ伝え、市としても強く要望したいと思います。	企画部 環境局	② 喜入地域のJR駅の公衆トイレの再設置については、引き続き、あらゆる機会を通じてJR九州にお伝えしてまいります。 原則として公衆トイレは、トイレ設置場所の管理者に設置していただくことにしていることから、市で設置することはできないと考えています。